

# 県立中央病院連携室だより

## -ともに歩む地域医療-

Vol.26

●発行日 平成29年3月  
●発行 岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 TEL 019-653-1151 (代)  
●URL <http://www.chuo-hp.jp/>

### 《地域医療連携推進の基本方針》

1. 顔の見える連携
2. 地域連携パスと逆紹介の推進
3. 紹介患者の迅速予約と優先診療
4. PHS による Dr.Direct Call
5. 24 時間救急受け入れ体制
6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進
7. 高額医療機器の共同利用推進
8. 地域医療研修センターの利用の推進

## 年度末のご挨拶

副院長兼地域医療支援部長

相馬 淳

大寒波襲来と全国的には何度も報道されておりましたが、盛岡は例年になく暖かく、そして雪も少なく過ごしやすい冬だったように思います。この原稿を書いているのは2月19日ですが、すでに陽ざしと風は春を感じさせます。皆様方には益々お忙しい診療・看護・介護の日々を送られていると存じます。



さて、そろそろ平成28年度の終わりが近づいてきました。今年1年間を少し振り返ってみたいと思います。

今年は、例年夏に行っております開業医の先生方および病院訪問の他、6月に「顔の見える連携」を目指し地域包括支援センター（16施設）の訪問も行いました。センターの方と直接お会いしお話をすることで介護施設側の率直な意見・要望をお聞きしましたが、当方が大いに反省させられ多くの業務改善につながりました。7月と9月には例年どおり、開業医の先生方、連携病院をそれぞれ訪問させていただきました。今年は過去最高で、開業医の先生187件、病院22件でした。お忙しい診療の合間にお会い下さった先生方には心より御礼申し上げます。また、今春発刊された「岩手県立中央病院」という本を各施設にお配りいたしました。中央病院との連携に少しでも役立ってくれればと願っております。12月には、これも初めての試みですが、連携登録医懇談会を開催しました。実に85名の登録医の先生方にお集まりいただき、「顔の見える連携」をさらに充実させるいい機会となりました。登録医数は昨年度末の183名から、今年度2月時点では295名まで増加しております。今後もこの連携登録医懇談会は継続して開催していく方針です。

平成31年9月には、岩手医科大学附属病院が矢巾に移転します。今後当院の盛岡医療圏での役割が益々大きくなっていくことは疑う余地がありません。そういった意味でも連携施設、登録医の先生のご協力が不可欠となってまいります。今後とも、ご指導、ご鞭撻、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 皮膚科 ～皮膚は人体最大の臓器であり内臓の鏡～

皮膚科長 森 康記

当科の設立は大変古く昭和37年にまで遡ります。初代科長は野口順一先生（東北大講師より転出、90歳を超えた今も御健在）が赴任されアトピー性皮膚炎の非ステロイド治療や温泉・水治療、独特の軟膏治療で高名な先生でした。その後平成2年に赤坂俊英先生（前岩手医大皮膚科教授）が常勤二人体制を開始し外来や入院診療の基礎を作られました。赤坂先生が大学に戻り平成4年に瀬川郁雄先生（現星が丘瀬川皮膚科クリニック院長）に代わってからは研修医の



指導に力を入れると同時に入院数、紹介患者さん、逆紹介患者さんの増加をみています。私は平成19年から科長を勤めておりますが、紹介患者数は平成26年度448人/年（平成22年度318人）に増加しています。逆紹介率は平成26年度47.4%（平成18年度11.4%）であります。皮膚科ばかりでなく近隣の内科、外科、整形外科、遠くは東北地方、関東の先生からのご紹介もいただき誠にありがとうございます。

当科で力をいれているのは、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬などの慢性皮膚疾患の治療と管理や指導です。現在アトピー性皮膚炎を始めとするアレルギー性疾患は大きな国民的関心事でもあります。免疫抑制剤の内服及び外用の登場でコントロールはある程度可能になりましたが、未だ発展途上であります。ゆえに新しい注射剤の登場が待たれるところです。当科では認可され次第すぐに使用していきたいと存じます。尋常性乾癬は認知度が低くその発音が「感染」を連想させる誤解から世間から差別を受ける疾患であります。ある患者さんは「うちには半袖の洋服がない、肌を見せると恥ずかしいから」とおっしゃいました。「真夏に半袖を着られない」という悲しいことでしょう。現在は免疫抑制剤、生物学的製剤、新しい紫外線療法、ビタミンD3外用薬など治療のオプションが増えました。当科ではその患者さんの年齢、生活背景に合った治療法を選択しております。今年からターゲット型エキシマランプを導入し健常皮膚を痛めることなく紫外線療法ができるようになりました。また脱毛症にはSADBE療法といった免疫療法も取り入れています。

また病院の性格上、緊急を要する感染症の患者さんが多数搬送されてきます。ASO、糖尿病性壊疽などは当院循環器内科で血管内治療を積極的に施行していますので協力して治療にあたっております。

今年4月から当院に待望の形成外科が誕生します。褥瘡、難治性皮膚潰瘍、手術など当科と連携をとり1+1が3にも4にもなって患者さんのためになるように努力して参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

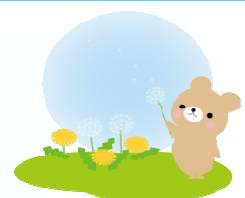
### 診療科新設のお知らせ

平成29年4月より新たに形成外科が開設されます。

常勤の形成外科専門医が入院・外来診療に対応いたします。

なお、診療日等詳細につきましては、4月以降にお問い合わせ下さい。

《お問い合わせ先》 岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室 Tel 019-653-1151（内線2191）



# 登録医

## ご紹介コーナー

今回は、盛岡市の『菅野小児科医院』をご紹介します。

私の診療所は山岸小学校の近くにあり、昭和 21 年亡父が内科小児科医院として開業した事に始まります。その後昭和 53 年 1 月から小さな小児科医院として、私が継承しております。地理的には県立中央病院に近く、更に高度の医療を受ける事が出来るため患者さんの満足度も高く、ついお願いの頻度が高くなります。そのため連携室と仲が良くなってしまいました。

開業医の診療の範囲は自ずと決まっております。即ちあと少し頑張れば治る、と先が見えながらの検査、加療依頼をお願いしなければならない症例があります。私的には多少の敗北感を込めながらの患(児)者紹介となります。よって軽症から中等症の事もまま多くなります。そんな症例にもかかわらず、丁寧かつ慎重な対応をいただき、小児科を始め貴院のスタッフの方々には感謝致しております。

また依頼患(児)者の丁寧なプロトコールを戴きます。これが大変勉強になっております。この作業に費やすご苦勞に感謝致します。最近の診療領域は RSV・ヒトメタニューモウイルス感染症に見るように様変りを感じます。今後もこの様な疾患の医療を中心にお世話いただく事となると思っております。宜しくお願い致します。



菅野小児科医院  
院長 菅野 恒治 (かの つねじ) 先生

菅野小児科医院							
住 所	〒020-0004 盛岡市山岸2-11-36						
電話 / FAX	☎ 019-622-4448 / FAX 019-622-4446						
診療科目	小児科						
診療時間		月	火	水	木	金	土 日
	9:00~12:00	●	●	●	●	●	● 休
	14:00~17:00	●	休	●	※①	●	● ※② 休
	※① 13:30~17:00		※② 13:30~15:00				
休 診 日	日曜日・祝日						



### 岩手県立中央病院健康講座のお知らせ

日時：平成 29 年 4 月 15 日 (土) 14時~16時30分 (受付は、13時30分~)

会場：プラザおでって (盛岡市中ノ橋1-1-10) 3階おでってホール

内容：『 歯の病気と全身の病気の深~い関わり 』

- 歯科治療時に服用していると問題がある薬 …… 歯科口腔外科長 八木 正篤
- 全身疾患と口腔ケア …………… 歯科衛生士 佐々木 和代
- 糖尿病と歯周病 …………… 歯科口腔外科医 樋野 雅文



# 紹介患者予約用 外来担当医表

(平成29年3月8日現在)

岩手県立中央病院

診療科	月	火	水	木	金
血液内科	村井一範	宮入泰郎	濱田宏之	佐藤彰宜	新患担当
総合診療科	坂本和太	須原誠 (第1・3・5) 橋本洋 (第2・4)	橋本朋子	大和田雅彦	菅原隆
消化器内科	池端敦 渡邊崇	赤坂威一郎	小坂崇	城戸治郎 高橋太郎	伏谷淳
小児外科	島岡理			島岡理	
小児科【特殊外来有】	三上仁	三上仁	梅木郁美	工藤宏紀	三上仁
	※小児心療内科、小児循環器科については小児科外来にお問合せください。				
整形外科	松谷重恒 金澤憲治 半田恭一	小野田五 永渕裕 月章		小野田五 金澤憲裕 月治章	松谷重 半田恭 恒一
神経内科	新患担当	大澤宏之		菊池貴彦	
脳神経外科	菅原孝行		菅原孝行		木村尚人
循環器内科	野崎英二 中遠村明 遠藤秀	野崎英二 高遠橋秀 藤秀	野崎英二 中遠村明 藤秀	野崎英二 高橋正 澤範	野崎英二 高橋
心臓血管外科		長嶺進 小田克彦		長嶺進	長嶺進
呼吸器内科	守義明	堀井洋祐	宇部健治	佐藤司格	伊藤貴司
呼吸器外科【要予約】 (診察12時半から15時)			大浦裕之 石田格 (第1・2・3・5) (第4)	石田格	
放射線科 (○は治療科)	及川茂夫 ○松岡祥介	佐々木康夫 ○松岡祥介 ○太田伊吹	佐々木康夫 ○松岡祥介	佐々木康夫 ○松岡祥介 ○太田伊吹	関澤琢郎 ○太田伊吹
消化器外科・外科	望月泉 藤尾淳	手島仁	白田昌広 小澤洋平	宮田剛彦 中川智彦	村上和重 中村崇宣
ペインクリニック	野口浩輝	野口浩輝		野口浩輝	野口浩輝
皮膚科	森川康記 梁川志保	森川康記 梁川志保	森川康記 梁川志保	森川康記 梁川志保	森川康記 梁川志保
眼科	久保抄子	佐々木克哉	吉田憲史	佐々木克哉	佐々木克哉
歯科口腔外科	横田光正 八木正篤 齋藤大嗣	横田光正 八木正篤 齋藤大嗣	横田光正 八木正篤 齋藤大嗣		横田光正 八木正篤 齋藤大嗣
耳鼻いんこう科	遠藤芳彦 阿部俊彦	遠藤芳彦 阿部俊彦	遠藤芳彦 阿部俊彦	遠藤芳彦	遠藤芳彦
泌尿器科	佐藤新見 樋口知夫	藤澤宏光 島谷光子	佐藤新見 樋口知夫	藤澤宏光 島谷光子	藤澤宏光 島谷光子
腎臓・リウマチ科	三森明夫 中屋来哉	三森明夫 中屋来哉	三森明夫 中屋来哉	三森明夫 中屋来哉	三森明夫 中屋来哉
がん化学療法科	加藤誠之	加藤誠之	加藤誠之	加藤誠之	加藤誠之
乳腺・内分泌外科	大貫幸二 高渡まゆ 渡辺雄	宇佐美伸 高渡まゆ 渡辺雄	大貫幸二 高渡まゆ 渡辺雄	大貫幸二 高渡まゆ 渡辺雄	大貫幸二 高渡まゆ 渡辺雄
産婦人科	葛西真由 三浦史晴	葛西真由 三浦史晴		鈴木博 葛西真由 三浦史晴	鈴木博 葛西真由 三浦史晴

- 受付時間は呼吸器外科を除き8:30~11:00(土・日・祝日・年末年始を除く)です。
- 急患の場合は、休診日にかかわらず24時間いつでも受け入れております。緊急時は、必ず該当診療科へ電話連絡をお願いします。
- 当日受診の際は、診療申込書の受診希望日欄に当日の日付をご記入ください。
- CT・MRI等の高度医療器械の利用についても、紹介患者様を優先いたします。なお、FAX紹介の際には検査部位を必ずご記入ください。
- 精神科の予約については653-1151(内線2256)平日13:00~14:00までお問い合わせください。

※外来担当医表、医師の出張などに伴う不在情報はホームページで毎月更新しています。

<http://www.chuo-hp.jp>

地域医療福祉連携室

TEL 019-653-1151(代)内線2191

FAX 019-654-5052